

銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和7年6月9日(水) 南日本新聞

令和7年6月9日(水)付け南日本新聞 11面に「Meet-up 大人と語り場」についての記事が掲載されましたので、紹介します。

大人との対話 1年生楽しむ

さつま・薩摩中央高

さつま町の薩摩中央高校で、全1年生70人が地域の大人と対話する「語り場」があった。農業や商工業、役場などさまざまな業種で活躍する20～70代と、テーマに沿って1対1の会話を楽しんだ。

地域を学びながら生徒のコミュニケーション力や探究心を養おうと、昨年に続く開催。普通科1年生だけだった前回から対象を広げ、1日に開いた。生徒は自己紹介に加えて、「人生最大の失敗は」などのテーマで対話。3分たつと相手を替え、それぞれ15人ほどと交流した。

最初は初対面の相手に緊張した様子だったが、慣れ

地域の大人たちと会話を楽しむ薩摩中央高校の1年生
＝さつま町虎居



張した様子だったが、慣れ
てくると積極的に質問する
姿も見られた。農業工学科
の石堂絢士(ゆんし)さんは「大勢の
大人と話するのは初めての経
験で、刺激的だった。人生
は楽しく、との言葉が心に
残った」と話した。

(山田天眞)